



第422号 2022年4月 4月 名古屋教区ニュース 名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya-diocese.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

名古屋教区設立100周年 教区聖年 2022年2月13日() 2023年5月28日聖霊降臨の主日

愛のよろこびの家族年 2021年3月19日() 2022年6月26日

福音のひびき 4月の説教者 3日 四旬節第5主日 長谷川 潤 (北陸ブロック富山地区) 10日 受難の主日 (枝の主日) クマル・アファリ・アルン (福井教会) 17日 復活の主日 太田 実 (一宮教会) 24日 復活節第2主日 (神いつくしみの主日) 大海 明敏 (五反城教会)

日本カトリック司教協議会 会長談話

3月2日の灰の水曜日に、ウクライナにおける平和のために断食と祈りを捧げましょう 「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる」 (マタイ福音5章9節)

ウクライナとロシアの国境を挟んで高まっている緊張は、国際社会の度重なる平和と対話の呼びかけにもかかわらず、2月24日、ロシアによる軍事侵攻の開始という残念な結果となりました。多くのいのちが、今、危機に直面しています。

声明文

ウクライナへのロシア軍事侵攻の中止を！

昨日(2月24日)、日本時間正午、ロシア軍がウクライナ軍事侵攻を開始しました。すでに両軍のみならず、民間人にも死者が出ています。また、ウクライナ国境地帯にはチェルノブイリ原子力発電所があり、ロシア軍に制圧されたとの情報も伝えられ、大変心配です。

今日、いまから41年前、当時のローマ教皇聖ヨハネ・パウロ二世が、原爆投下から36年たった広島で『平和アピール』を発表した記念すべき日に当たります。いまいっけまして、そのことを傾けましょう。戦争という人間がつくり出す災害の前で、「戦い出さずとも、争い出さずとも、争は避けられない」ということを「平和アピール」をわれわれはみずから言い聞かせ、繰り返し考えてゆかねばなりません。

ロシアのウクライナ侵攻は、国際法に反し、武力では真の問題解決をわれわれはみずから言い聞かせ、繰り返し考えてゆかねばなりません。

立の道を歩まれることを求めます。戦争は自然に発生するものではなく、人間が生み出すものです。第二次世界大戦前後、ヨーロッパにおいて国家間の緊張が高まる中で、教皇ピオ12世は、「平和によってはなにも損なわれないが、戦争によってはずべてが失われる」(教皇ピオ12世1939年8月24日のラジオメッセージ)と、世界に平和を呼びかけました。

戦争は自然に発生するものではなく、人間が生み出すものです。第二次世界大戦前後、ヨーロッパにおいて国家間の緊張が高まる中で、教皇ピオ12世は、「平和によってはなにも損なわれないが、戦争によってはずべてが失われる」(教皇ピオ12世1939年8月24日のラジオメッセージ)と、世界に平和を呼びかけました。

人類は、自己破壊という運命のもとにあるものではない。イデオロギー、国家目的の差や、求めるものの違いは、戦争や暴力行為のほかの手段をもって解決されねばなりません。人類は、紛争や対立を平和的手段で解決するにふさわしい存在です。

今日、いまから41年前、当時のローマ教皇聖ヨハネ・パウロ二世が、原爆投下から36年たった広島で『平和アピール』を発表した記念すべき日に当たります。いまいっけまして、そのことを傾けましょう。戦争という人間がつくり出す災害の前で、「戦い出さずとも、争い出さずとも、争は避けられない」ということを「平和アピール」をわれわれはみずから言い聞かせ、繰り返し考えてゆかねばなりません。

ロシアのウクライナ侵攻は、国際法に反し、武力では真の問題解決をわれわれはみずから言い聞かせ、繰り返し考えてゆかねばなりません。

独立国への軍事侵攻という事態を目の当たりにして、その決断がいのちをいま危機に陥れるだけでなく、将来の世界秩序に多大な負の影響を与えるであろうことを憂慮します。

わたしたちの「共通の家」が平穏に保たれ、真の神の秩序が確立されるように、政治の指導者たちが対話を持って解決の道を模索することを心から求めます。

教皇フランシスコは、先日の一般謁見で、「神は平和の神であり、戦争は平和の神の敵です。今日、大国による他の

わたしたちの「共通の家」が平穏に保たれ、真の神の秩序が確立されるように、政治の指導者たちが対話を持って解決の道を模索することを心から求めます。

教皇フランシスコは、先日の一般謁見で、「神は平和の神であり、戦争は平和の神の敵です。今日、大国による他の

愛のよろこびの家族年 2021年3月19日() 2022年6月26日

福音のひびき 4月の説教者 3日 四旬節第5主日 長谷川 潤 (北陸ブロック富山地区) 10日 受難の主日 (枝の主日) クマル・アファリ・アルン (福井教会) 17日 復活の主日 太田 実 (一宮教会) 24日 復活節第2主日 (神いつくしみの主日) 大海 明敏 (五反城教会)

趣意書

愛のあかし・元和の大殉教400年 (2022-23)



今年2022年の9月10日の「日本205福者殉教者の記念日」となる「長崎の元和殉教」と、来年2023年12月4日の「江戸の元和殉教」は、ともに400年の節目を迎えます。列聖推進委員会

- ① 聖フランシスコ・ザビエルの列聖400周年(2022年3月12日)
② 日本二十六聖人の列聖160周年(2022年6月8日)
③ 福音宣教省の創設400周年(2022年6月22日)
④ 長崎の元和の大殉教400周年(2022年9月10日)
⑤ キリシタン禁制の高札撤廃150周年(2023年2月24日)

く特効薬であって、私たちに歩むべき道を示してくれませぬ。希望に燃えた種蒔き、殉教者のあかし、時が来れば神が与えてくださる実りを待つ忍耐が、日本の宣教の特徴であり、それは日本の文化と共存しています。今こそ日本の教会は殉教者に耳を傾け、神が日本の教会に与えてくださった特別な救いのめぐみ現代の教会で生きようではありませんか。

神に信頼を置くかぎり、どのような災禍も恐れるには足りませぬ。それどころか危機のときこそ、神のめぐみに出会う好機です。迫害時代のキリシタンは、大迫害に苦しめられていたときに、信者たちは地下に籠もって息を潜めてはいませんでした。役人の目が光る中で、病人を世話し、未亡人や孤児たちを助け、貧しい人びとに手を差し伸べていました。

「神は、あらゆる苦難に際して私たちに慰めてくださるので、私たちが神からいただくこの慰めに、あらゆる苦難の中にいる人びとを慰めることができます」(コリント二17)。

いま教会に求められるものは、信頼あふれる祈りに裏打ちされた一致と連帯です。それこそは、分断と不寛容に打ち勝つ

i 1622年6月22日、布教省 (Congregatio de Propaganda Fide) が設立された。その目的は、信仰の弘布と全世界の教会の一致であった。そして特に、発見して間もない地域での幅広い活動を展開した。1967年8月15日以後、福音宣教省 (Congregatio Pro Evangelizatione Populorum) と呼ばれる。ii 1897(慶應3)年に起こった浦上四番崩れが契機となり、1873(明治6)年2月24日、明治政府は、太政官布告第68号をもって、約200年続いたキリシト教禁教の高札を撤廃しました。iii 教皇聖ヨハネ・パウロ二世「長崎松山県宮球場でのミサの説教」1981年2月26日。iv 教皇フランシスコ「教皇フランシスコ訪日公式記録集」p.23「2019年11月23日、ローマ教皇大使館における日本司教団との集いの講話」2021年6月10日(宗)カトリック中央協議会。v ローマ 825、534、コリント 1013、コリント 2:417

2022年度定例司教総会

東京都江東区の日本カトリック会館で2月14日から17日まで、日本カトリック司教協議会(会長 菊地功大司教・東京教区)の定例司教総会を開いた。

日本のカトリック教会として、環境問題に取り組むための方針を検討し確認した。当日は公開講座「教皇フランシスコ回顧「兄弟の皆さん」を学ぶ」もオンラインで発信した。

その中の報告事項として、今年から来年にかけて「元和の大殉教から400年」を迎えるなど、殉教者に関していくつかの節目を迎える。その期間を「愛のあかし・元和の大殉教400年」として記念するとし、委員会の趣意書を公表した。(一面に掲載)

また審議事項では、日本カトリック司教協議会各種委員会委員長・担当司教の改選も行なわれた。(下記参照)

各種委員会委員長・担当司教等

(任期は2025年度定例司教総会終了時まで) 敬称略

教会行政法制委員会	委員長 梅村昌弘
財務委員会	委員長 梅村昌弘
終身助祭養成委員会	委員長 松浦悟郎
典礼委員会	委員長 白浜満、担当司教 梅村昌弘
学校教育委員会	委員長 前田万葉、担当司教 酒井俊弘
新福音化委員会	委員長 諏訪榮治郎 担当司教 ヨゼフ・アベイヤ、中野裕明
列聖推進委員会	委員長 大塚喜直
司教・修道者合同委員会	担当司教 菊地功、前田万葉、中村倫明
司祭生涯養成部門	責任司教 松浦悟郎
諸宗教部門	担当司教 菊地功、山野内倫昭、中野裕明 責任司教 大塚直樹、担当司教 中村倫明
エキュメニズム部門	責任司教 前田万葉 担当司教 ヨゼフ・アベイヤ
中国教会関係部門	担当司教 菊地功
青少年司牧部門	責任司教 勝谷太治、担当司教 山野内倫昭
日韓司教交流会	担当司教 勝谷太治(日本側窓口)、白浜満、中野裕明
修道会・宣教会担当	担当司教 山野内倫昭
広報担当	担当司教 酒井俊弘
社会司教委員会	委員長 勝谷太治 副委員長 成井大介(カリタス・ジャパン) 委員 山野内倫昭(難民移住移動者委員会) 中村倫明(部落差別人権委員会・HIV/AIDS デスク) ウエイン・バート(正義と平和協議会) エドガル・ガクタン(正義と平和協議会) ヨゼフ・アベイヤ(子どもと女性の権利擁護のためのデスク) 松浦悟郎(子どもと女性の権利擁護のためのデスク)
カリタスジャパン	担当司教 成井大介
難民移住移動者委員会	委員長 山野内倫昭
部落差別人権委員会	委員長 中村倫明
正義と平和協議会	責任司教 ウエイン・バート 担当司教 エドガル・ガクタン

(カトリック新聞 第4613号より転載)

2022年度 名古屋教区 第一次人事異動

教区の皆さま

十主の平和
教会はいよいよ四旬節に入りました。個人の回心とともに、今、地球という「共通の家」で起こっているさまざまな争い、分裂にあるこの世界の一人として神に赦しを願いつつ、平和のために祈りたいと思います。さて、2022年度の人事異動の発表をします。

- 三河ブロック
 - ・刈谷教会 主任司祭 ヨセフ・ホーシヨウフェン(賀曉峰/神言会)
 - *長崎教区からの転任で、刈谷教会への赴任は4月1日です。
- 名古屋教区外へ転出司祭
 - 下記の二人の神父様方が教区外へ異動されます。これまでの名古屋教区でのお働きに心から感謝するとともに、新しい役割の上に神さまの助け

教区司教 松浦悟郎
と恵みがあることを心からお祈りします。お二人とも4月1日付けの異動となります。

- ・オデロン・金一神父(神言会)(刈谷教会から東京大司教区・大司教秘書)
- ・志村武神父(男子洗足カメル修道会)(日比野八熊小教区助任司祭から上野毛修道院(東京へ))
- 追記 それぞれの召命の道を行く下記の方々のために祈りください。
- ・去る2月27日(日)に、秋元伸介さん(南山教会)の終身助祭候補者認定式があり、正式に教区の終身助祭候補者となりました。
- ・来る3月12日(土)に神言会員の助祭叙階式があります。受階者は、アンデレ・トルウン・ゴロー・ホム神学生とアントニオ才傍 島義雄神学生です。

ウクライナ危機人道支援 緊急募金受付開始

カリタスジャパンの担当である成井大司教様より、今回のロシアによるウクライナへの大規模軍事侵襲による、緊急募金の呼びかけがありました。

ウクライナにおいてカリスは2014年のロシアのウクライナへの攻撃以降、緩衝地帯に暮らす人々への緊急支援を続けていきましたが、今回もいち早くウクライナ全土で長期・短期避難所の提供や、移動希望者の送迎、精神的ケア、離れ離れになってしまった家族の再統合、国境付近で待機する難民への食糧支援などを行っています。また、周辺国のカリタスと協働し、ヨーロッパからの食糧や衣料品の調達を開始しています。

カリタスジャパンは、ウクライナにおけるカリタスの活動を考慮し、「ウクライナ危機人道支援」を決定しました。お寄せいただいた募金は、ウクライナとその周辺国で行われる人道支援活動のために活用させていただきます。

名古屋教区内の各小教区におかれましても、ぜひ皆さまに呼びかけをよろしくお願いいたします。郵便振替番号・0017015195979

加入者名・宗教法人名義で、カリタス中央協議会カリタスジャパン通信欄に「ウクライナ危機人道支援」と明記

名古屋教区 担当司祭 山野聖嗣

秋元伸介さんが終身助祭候補者の認定式に臨む

カトリック南山教会で松浦悟郎司教司式による堅信式と、南山教会に所属する秋元伸介氏の終身助祭候補者の認定式が2月27日に執り行われた。

儀式にあたり松浦司教は候補者の秋元さんに向かい次のように語られた。

「あなたは神の呼びかけを受け止め、その呼びかけに忠実であるように望まれました。キリストの愛に駆り立てられ、聖霊の働きに強められて、あなた

は聖なる叙階を受けて、神と人々の奉仕に身を捧げたいという願いを、公に示そうとしておられます。教会共同体は、この願いを喜んで受け入れます。私たちは神に信頼し、愛と祈りによって、あなたの助けになりたいと思っています。」

その後、秋元さんは教会共同体の前で、松浦司教の問いかけに対し「ハイ!」としっかりと声で自分の決意を表明すると、「あなたのうちに神が始めてくださったことを、神ご自身が完成させてくださいますように」と、司教より祈りと祝福を受けた。

終身助祭候補者の認定を受けた秋元さんは、これから終身助祭養成基本要綱や、職務と生活のための指針などを研鑽し、助祭叙階に臨むことになっている。



終身助祭候補者の認定式に臨む秋元伸介さん(最右端)

《聖香油ミサ・金銀祝のお祝い》

名古屋教区の司祭団が司教と一致して捧げるミサ。ミサの中では司祭の約束の更新と秘跡の執行に用いる聖香油の聖別、病者の油、洗礼志願者の油の祝福が行われる。

また名古屋教区で宣教活動の先頭に立って現在も働いておられ、働いてこられた司祭、修道者、奉獻生活者の方々をお祝いする。当日教会に来ることができない方も心を合わせて、金・銀祝のお祝いに当たる方々のために、お祈りください。

日時 4月13日(水) 10:30~12:00
場所 名古屋教区司教座聖堂布池教会
連絡 駐車場はありません。公共交通機関をご利用のこと。
・参加される方はマスク着用の事。
・体調のすぐれない時は出席を控える。
主催 カトリック名古屋教区宣教司牧評議会事務局
☎052-936-8366 Fax 052-935-2254

聖地のための献金

4月15日

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などのために使われている。

聖週間の典礼

復活の主日の前の日曜日は「受難の主日」(枝の主日)と言われ、この日、キリストは過ぎ越しの神秘(主の受難、死、復活)を完成されるためにエルサレムに入場された。このことを記念するために、教会はミサの前に行列、または入堂式を行い、信徒は枝を手を持って参加する。

この日から復活祭までを聖週間といい、特に後半の聖なる三日間 一 聖木曜日「主の晩さん」、聖金曜日「主の受難」、聖土曜日「復活の聖なる徹夜祭」は、主の復活を迎える最も大切な典礼として初代教会から盛大に祝われてきた。

今年もコロナ禍の中で迎える復活祭ですが、どんな状況下でも変わらない主キリストの最高の恵みの時をともに過ごせるよう、聖週間の典礼に参加しましょう。

**聖霊奉侍布教修道女会(聖霊会)に
Holy Spirit Missionary Association
(HSMA)が誕生しました**



聖霊会には創立当初から存在した信徒協会の会があり「Holy Spirit Association 聖霊扶助会」という名称になり、1978年にはHSMAと呼ばれるようになりました。日本においては1961年に始められました。1987年には合計45人の会員を数えるほどになりました。

最初の奉献式は、昨年12月19日に八事本部修道院の聖堂で行われ、南山教会主任ウオポール神父様司式のミサの中で、11人の信徒が次のように決意を表明しました。

「創立者聖アーノルド・ヤンセンの三位一体の霊性と宣教のカルリスマを共有し、宣教の様々な分野や司牧の中で、自分自身の賜物や才能を分かち合うことを選びます。交わり

の霊の中で生きる実りによって活気づけられ、感謝し、聖霊会とのより深い関係と協働のうちに、わたしたちの宣教の旅を続けることを望みます」と。

今後は神言会、聖霊会とともに、アーノルドファミリーの一員として、それぞれの置かれた場で、聖霊の宣教者として活動することになります。一日も早く自立して活動できるよう、また新しい会員が増えていくことを願っています。

HSMAに関する方は下記にご連絡ください。
e-mail holysma.info@gmail.com 担当 Sr.村上

多治見教会でウクライナとロシアの平和のためのミサと4人の子どもの初聖体



「神父様、シスターありがとうございます」(2月27日)

た。

カルロ・アクティスのパネル展はキリストの聖体の祭日(6月17日)まで2週間ごとにパネルを取り換えながら続けられる。聖体の神秘がカルロ少年を喜びで満たしたように、この子どもたちの心も満たしてくるだろう。長い歴史の中で、聖体の不思議な出来事が記録されてきたが、私たちにはその殆どを知ることがなかった。「神を見つけると、あなたはあなたの人生の意味を見つけるでしょう」と語った15歳の福者カルロ・アクティスの企画展と初聖体式が、コロナ禍に生きる私たちに自分を振り返る機会を与えてくれた。四旬節を迎える教会は初聖体の子どもたちに促されたように深い回心の恵みをもたらした。教会が、混乱する世界に平和の希望を灯す光となりますように。

第15回ホスピス聖霊講演会

『がんを気い楽に生きる』に参加して

講師に大橋洋平氏を迎えて



第15回ホスピス聖霊講演会「WEBライブ配信」が2月12日に開催された。コロナ禍のために2年の間開催が中止となり、今回も公開WEBライブ配信講演会を予定していたがWEBのみとなった。にもかかわらず、多くの参加者の聴講を得た。

講師に海南病院緩和ケア医師大橋洋平先生を迎えて、「がんを気い楽に生きる」をテーマに講演が行われた。スライドを共有し、朗らかに関西弁で語られ、時の経つのを

忘れるほどであった。ご自身より「肩書は現役がん患者緩和ケア医師大橋洋平...」この「現役」の字の赤色にも意味があつて、今も治療中。卒業したい、引退じやなく...。引退はまた現役に戻る人がいる。しかし、卒業は基本的に戻らない。自分は今から卒業したいけれど、今も治療中です。」と。緩和ケア医としてがん患者になられた現実、病状の経過を話された。特に、訪れた苦しみは想像していた以上に、体にも心にも精神、スピリチュアルまで「苦しいがん治療を頑張ったにもかかわらず

転移するなんて、治療の意味はなかった...」「へこみました。落ち込みました...」と。

しかし、意味がなく苦しんでいた時に聴いてもいい、わかつてもらえたという実感、共感、満足、安心、信頼につながり、そこから物事が見え考えるようになる。この現実から新しい生き方を探し出し、見つけ、生きる意味を回復し、生きがいを見つけないことができないようになった。

「体のことは医療者にまかせろ。そして自分も何かをしようと思った時、腑に落ちたように、気が楽になった。そして、①腹をくくり、地べたを這ってでも②しぶとく生きる。死ぬ余命のカウントダウンは寂しいが、今から生きた日にちを足

していく、減ることはない③足し算命になる。④この機会を最後の時として生きなさいという一期一会に、また会いたいという気持ちで今を生きてくたさった。

自己満足も大事なことで、自画自賛で自分をほめながら...とおっしゃって著書の『緩和ケア医がんと生きる40の言葉』を紹介された。この作品の中に、今日語られたことが興味深く書かれていた。

この講演会は、聖霊病院ホームページで6月30日まで動画配信している。聖霊病院カトリック社会事業室 Sr.村木あゆ芽



カルロ・アクティス「世界の聖体の奇跡」パネルの説明を熱心に聴く子どもたち(2月13日の勉強会で)

名古屋教区殉教者祭 金沢卯辰山

4月24日に予定していた名古屋教区殉教者祭卯辰山の殉教者ミサは、日時を繰り下げて開催します。

日時 4月29日(金・祝) 14:00~

場所 金沢・卯辰山殉教地
石川県金沢市卯辰町卯辰山公園内

司式 松浦悟郎司教
雨天の場合は金沢教会で殉教者ミサが行われます。

交通 連絡 JR 金沢駅⇒北陸鉄道路線バス「望湖台」下車徒歩約2分
・名古屋からの巡礼バスはありません。各自で殉教者ミサに参列の事。
・新型コロナウイルス感染拡大状況により中止となる場合があります。
・参列者はマスクを着用ください。

問合せ 名古屋教区宣教科牧評議会
事務局 ☎052-936-8366 FAX 052-935-2254

**聖霊奉侍布教修道女会(聖霊会)からお知らせ
ラビリンスメディテーションへのお誘い**

ラビリンスは普通円形で、外周と中心をつなぐ曲がりくねった一本道が内部に描かれています。迷路はたくさんの枝分かれした道があり、人に選択を迫ります。ラビリンスは一本道です。ラビリンスは人を中心に導き、再び外に戻させます。ラビリンスを歩きながらたどる瞑想のプロセスに参加してみませんか?

2022年-2023年ラビリンスメディテーション予定
原則として第4土曜日 12月は第3土曜日

1	4月23日	7	10月22日	
2	5月28日	8	11月26日	
3	6月25日	9	12月17日(第3)	
4	7月23日	10	1月23日	
5	8月	お休み	11	2月25日
6	9月24日	12	3月25日	

時間 13:30~16:30
場所 聖霊ミッションセンター(旧八事聖霊幼稚園)
住所 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町1

参加費 200円
交通 地下鉄名城線八事日赤病院1番出口を出て右方向へ、すぐの角を右折、次の角も右折。信号を左折し門へ徒歩5分(地図参照)

問合せ 聖霊修道院 ☎052-832-0434
なお、コロナ感染症で蔓延防止措置が出されている間は自由にラビリンスを歩きます。また、分かち合いはありません。





19日(火)	カトリック看護協会例会	29日(金)	金沢卯辰山(金沢卯辰山)＊
20日(水)	カリタス福祉委員会	28日(土)	教区顧問会＊
21日(木)	教区顧問会＊	26日(木)	城北B会議／青年委員会
23日(土)	修女連「総会」	25日(水)	一粒会「委員総会」
24日(日)	各務原教会堅信式＊／名古屋教区設立100周年聖年開始ミサ・講演会＊	24日(火)	カトリック看護協会例会
3日(日)	四旬節第5主日	23日(月)	月集＊
10日(日)	受難の主日(枝の主日)	22日(日)	レジオ・マリエ「名古屋クリア」／樹の会「総会」
13日(水)	聖香油ミサ	21日(土)	教区顧問会＊
14日(木)	聖木曜日(主の晩さん)	20日(金)	城北橋教会堅信式＊／愛岐B「兄弟の集い」／北陸B会議
15日(金)	聖金曜日(主の受難)(大斎小斎)	19日(木)	カトリック看護協会例会
16日(土)	聖土曜日	18日(水)	一粒会「委員総会」
17日(日)	復活の主日(祭)	17日(火)	カトリック看護協会例会
24日(日)	復活節第2主日(神のいつくしみの主日)	16日(月)	樹の会
25日(月)	聖マルコ福音記者(祝)	15日(日)	カリタス福祉委員会
29日(金)	聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士(記)	14日(土)	正義と平和委定例会
1日(日)	復活節第3主日	13日(金)	正義と平和委定例会
8日(日)	復活節第4主日	12日(木)	正統と平和委定例会
15日(日)	復活節第5主日	11日(水)	樹の会
22日(日)	復活節第6主日	10日(火)	樹の会
29日(日)	世界広報の日(献金)主の昇天(祭)	9日(月)	樹の会

図書案内 神の愛について学ぶ「子どもの聖書物語」

文 アンネ・デ・グラーフ 絵 ホセ・ベレス・モンテロ

本書『神の愛について学ぶ～子どもの聖書物語～』は1996年にサンパウロより発行され、好評を博した『子どもの聖書物語』の改訂新版です。今回の改訂新版にともなう大きな特徴は、聖書物語が分かりやすく書き改められているだけでなく、各聖書物語のあとの「解説文」が付け加えられていることです。聖書物語の中心的メッセージがこの「解説文」の中に簡潔にまとめられています。本書を読む子どもたちのうちに神が共におられ、神のみことばに耳を傾け、神の愛、神のいつくしみについて学ぶことができるようにとの願いをこめて「解説文」が用意されました。

発行 サンパウロ 価格 3,190円(税込) 初版発行 2022年4月1日

告知板

◇4月の炊き出し

木7日東山、14日布池、21日聖霊・南山・樹の会、28日城北橋

日喜望の会、8日喜望の会、15日南山、22日布池、29日一宮

新型コロナウイルスの影響その他により中止・延期となった教区諸行事

《延期》

○4月24日開催の名古屋教区殉教者祭金沢卯辰山は4月29日(金・祝)となりました。

カトリック名古屋教区 セクシュアル・ハラスメント 対応委員会 ホットライン

☎ 080-2625-4681

受付 月～金(祝日除く)
時間 10:00～12:00
13:00～16:00

名古屋市東区葵2-6-35
カトリック名古屋教区センター
相談の秘密、プライバシーは厳守します。
安心してご相談下さい。

建設費の返済に協力を

643件 31,659,358円
目標額 40,000,000円 (2/28現在)

達成率 約79.1%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

サダナ ～神への道～【入門コース】

聖イグナチオの霊性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。

日時 入門A 5月15日(日) 9:30～17:00
入門B 6月26日(日) 9:30～17:00
入門C 7月10日(日) 9:30～17:00

場所 聖霊会八事修道院 ミッションセンター
名古屋市昭和区八事本町1番地(駐車可)

指導 植葉 彌神父(イエズス会)

問合せ 攪上暁子
メール ngosdn@gmail.com ☎050-7108-7410

参加者の声 右QRコードよりご覧ください。
(2022年度の予定)

- (初)リピーターの会(入門ABC経験者のみ)
以下AとBは別内容。いずれかだけでも参加可能。
A 11月5日(土)、B 11月6日(日)
- (初)サダナ2(入門ABCまたはサダナ1経験者のみ)
4日間参加可能な方のみ。部分参加は不可。
2023年2月4日・5日(宿泊) 2月11日・12日(宿泊)

聖マリアの無原罪教育宣教修道会 「青年のための聖書の学び」案内

毎月マルコ福音書を1章ずつ読んで分かち合いをします。(2022年度前期はイエスの最期の1週間と復活がテーマです。)

2022年4月～7月の予定

4月24日(日) 決断の時 (マル14・1～31)
5月22日(日) 裏切りと断罪 (マル14・32～72)
6月19日(日) 十字架刑 (マル15・1～47)
7月17日(日) 復活 (マル16・1～20)

「イエスの胸の内」や「行動」、人々の反応に想いをさせます。
*諸事情により一週間ずれることがあります。参加希望者は日時をご確認ください。

場所 聖マリアの無原罪教育宣教修道会岐阜修道院・聖マリア女学院(マドンナホール) 〒501-2565 岐阜市福富201

係り シスター 碓(いかり)
☎058-229-3985(修道院)
☎080-1560-7429(碓・携帯)
080-1560-7429@docomo.ne.jp

交通 JR岐阜駅から市バス12番乗場、三田洞バス停下車(27～28分乗っています)。乗車時にTEL下さい。バス停で待っています。自動車で来られる方は聖マリア女学院でナビ設定のこと。

《ピースあいち企画展》 戦時下の地震

―隠された東南海・三河地震―

日本列島は世界でも地殻変動の激しい位置にあり、列島上には無数の活断層がある。自然災害を完全に防ぐことは出来なくても、被害を減少させることは可能です。戦時下に東南海地震(1944年12月)と三河地震(1945年1月)から、戦争と平和について考えましょう。

日時 3月8日(火)～5月6日(金)

会場 戦争、平和の資料館「ピースあいち」3階展示室、2階プチギャラリー
〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台2-820
☎062-602-4222

休館日 日曜日、月曜日
入館料 大人300円、小中高生100円

なお、新型コロナウイルス感染拡大等の状況によっては、臨時休館、展示イベントの等の内容変更があります。電話やHPでご確認ください。

「平和をつなぐ」特別学習会

―いま、キリスト者として憲法を考える―

平和憲法の意義とそれを何のために、どのように改憲しようとしているのか知りたくありませんか?
神様のみ旨にかなう選択をするために、一緒に勉強しませんか?

日時 4月29日(金) 13:30～15:00

場所 南山教会 マリア館2階

講師 池住義憲先生
(立教大学大学院特任教授)

主催 南山教会信徒 その他有志、ピース9
(連絡先 井爪 080-3066-3433)

申込の必要はありませんが、コロナ感染対策を行って参加をお願いします。

四旬節愛の献金 (四旬節中)

「愛の献金」はカリタスジャパンを通して海外諸国と日本各地におくられ難民や孤児、そして貧困、失業、飢餓などに苦しむ多くの人々の命を守るために、また彼らの自立を助けるために使われる。